

報道関係者各位

2026年3月2日

公益財団法人 日本英語検定協会
一般社団法人 スポーツマネジメント通訳協会

【速報】

日本英語検定協会とスポーツマネジメント通訳協会、 スポーツ通訳検定に関する業務提携の基本合意を締結

— 5年間で受験者数10万人規模を視野に入れ、専門性と信頼性を備えた検定モデルの構築を目指す —

公益財団法人 日本英語検定協会（所在地：東京都新宿区、理事長：松川 孝一、以下「英検協会」）と、一般社団法人 スポーツマネジメント通訳協会（所在地：東京都港区、代表理事：生駒 富男、以下「SMI」）は、スポーツ通訳検定の運営および普及促進に関する業務提携の基本合意書（MOU）を締結しましたことを速報としてご報告させていただきます。

【本提携の背景と目的】

本合意は、日本におけるスポーツ通訳検定の普及を加速させ、今後5年間で累計受験者数10万人を達成することを共通の目標としています。急速にグローバル化が進むスポーツ界において、高度な専門性を持つ通訳人材の育成は急務です。本提携では、SMIが持つスポーツ分野の専門的知見と、英検協会が長年培ってきた全国規模のテスト運営のノウハウを融合させることで、社会的信頼性の高い検定モデルの構築を目指します。

【主な協力内容と今後の展開】

両者は「ワーキング・コミッティ」を設立し、定期的な協議を通じて以下の項目を中心に具体的な提携内容を合意および推進してまいります。

1. 次世代検定プラットフォームの提供

英検協会が有するデジタル基盤を供与し、申込から受験、採点、成績管理、「デジタル証明書」発行までを一元化した、効率的な運営に向けた検討を進めます。

2. 試験問題の共同開発・提供

英検協会の試験開発ノウハウを活かし、スポーツ通訳検定の試験問題の作問体制の構築を支援します。

3. 普及促進活動の共同展開

両者のネットワークを活用し、スポーツ現場や教育機関等への検定導入を強力に推進します。

今後の詳細情報につきましては、確定次第、随時お知らせ申し上げます。

【各団体概要】

- **一般社団法人 スポーツマネジメント通訳協会（SMI）**
 - 代表者：代表理事 生駒 富男
 - 設立年月日：2023年4月3日
 - 事業内容：スポーツマネジメント及び通訳に関する研究及び情報提供、知識及び技術について認定及び検定試験の実施、教育事業、出版事業
 - ウェブサイト：<https://www.spomane-inter.com/>

- **公益財団法人 日本英語検定協会**
 - 代表者：理事長 松川 孝一
 - 設立：1963年
 - 事業内容：英語能力判定事業、実用英語の研修・教育事業、実用英語の習得及び普及向上に繋がる研究及び事業に対する助成事業、その他、目的を達成するために必要な事業
 - ウェブサイト：<https://www.eiken.or.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

・業務提携全般に関するお問い合わせ：

公益財団法人 日本英語検定協会 広報担当 (kouhou21@eiken.or.jp)

・スポーツ通訳検定の内容・運営に関するお問い合わせ：

一般社団法人 スポーツマネジメント通訳協会 事務局 (info@spomane-inter.com)